

平成15年4月18日

各位

本社所在地 大阪市内中央区平野町三丁目1番3号
会社名 株式会社カプコン
代表者の役職・氏名 代表取締役社長 辻本憲三
コード番号 9697
決算期 3月31日(中間決算9月30日)
連絡者の役職・氏名 取締役副社長 大島平治
電話番号 (06)6920-3611

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成14年11月12日の中間決算発表時に公表いたしました平成15年3月期(平成14年4月1日~平成15年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正しますのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正

通期の業績予想数値の修正(平成14年4月1日~平成15年3月31日) (単位:百万円)

| | 売上高 | 経常利益 | 当期純利益 |
|-------------------------|--------|--------|--------|
| 前回予想(A) | 70,500 | 10,050 | 12,700 |
| 今回修正(B) | 61,900 | 6,700 | 19,500 |
| 増減額(B)-(A) | 8,600 | 3,350 | 6,800 |
| 増減率 | 12.2 | 33.3 | - |
| (ご参考) 前期実績(平成14年3月期) | 62,742 | 9,261 | 4,912 |

2. 単体業績予想の修正

通期の業績予想数値の修正(平成14年4月1日~平成15年3月31日) (単位:百万円)

| | 売上高 | 経常利益 | 当期純利益 |
|-------------------------|--------|-------|--------|
| 前回予想(A) | 48,100 | 5,850 | 10,500 |
| 今回修正(B) | 43,400 | 4,300 | 13,500 |
| 増減額(B)-(A) | 4,700 | 1,550 | 3,000 |
| 増減率 | 9.8 | 26.5 | - |
| (ご参考) 前期実績(平成14年3月期) | 45,015 | 5,837 | 3,342 |

3.業績予想修正の理由（連結・単体）

昨年発売いたしました期待作のプレイステーション2向けソフト「クロックタワー3」や「プレス オブ ファイア ドラゴン クォーター」が大幅に計画を下回るとともに、下期の主要タイトルである「バイオハザード0」（ニンテンドーゲームキューブ用）や「デビルメイクライ 2」（プレイステーション2用）も販売拡大のけん引役を果たすことができませんでした。

こうした状況のもと、局面の打開を図るため、今年の3月に計画外の「カオスレギオン」（プレイステーション2用）や「P.N.03」（ニンテンドーゲームキューブ用）などを投入しましたものの、全体の落ち込みを穴埋めするまでには至りませんでした。

一方、ゲームボーイアドバンス向けの「ロックマンエグゼ3」や「逆転裁判2」などは底堅い売行きを示すとともに、海外におきましても欧米市場が堅調なことに加え、廉価版ソフトの伸長により、おおむね順調に推移いたしましたものの、全体として売上減を余儀なくされました。その要因については、開発体制によるものであります。このため、ユーザーに受け入れられることが期待できないと判断した仕掛中のソフトにつきましては、開発を中止し、開発中止損を計上いたしました。今後は、収益が見込まれるソフト開発に経営資源の集中が行える体制へ切り替えを行います。

このため、売上高は当初の予想を下回る見込みであります。

また、損益面につきましても設備投資の抑制など、コスト削減に努めましたものの、経常利益および当期純利益は当初の予想より悪化する見込みであります。

4.今後の見通しについて

企業を取り巻く環境の変化に対応できる事業基盤を確立するため、当社は、今後の成長に向けての経営体質強化の基盤作りを進めております。この一環として、開発部門の再構築により、開発プロセスから技術向上・人材育成といった面におきましても挺入れを図り、これにより市場ニーズに適合したソフトの投入や顧客満足度の向上を目指してまいります。また、昨年9月に土地・建物の評価損を計上するなど、減損会計の導入にも前向きに対応するとともに、経営の効率化や財務体質等の強化にも積極的に取り組み、収益力の向上およびキャッシュフローの拡大に努めてまいります。

来期の連結業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）（単位：百万円）

| 売上高 | 経常利益 | 当期純利益 |
|--------|-------|-------|
| 63,000 | 7,300 | 4,200 |

来期の単体業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）（単位：百万円）

| 売上高 | 経常利益 | 当期純利益 |
|--------|-------|-------|
| 45,500 | 5,100 | 3,000 |

5.期末配当予想

当期は大幅な損失計上のやむなきに至る見込みではありますが、当社の重要な経営方針のひとつである安定配当の継続に鑑み、期末配当につきましては、その他資本剰余金を取り崩すことにより、当初予想どおり1株当たり10円を予定しております。

（注）当業績予想につきましては、現在入手可能な情報に基づき作成しており、最終の業績は今後のさまざまな要因により、予想数値と異なる可能性があります。

以 上